

市有財産の状況

土地
3,371,770.30㎡

建物
565,164.48㎡

基金
235億6780万円

30年度
上半期

財政状況

(9月30日現在)

問 財務課(☎62-1006)

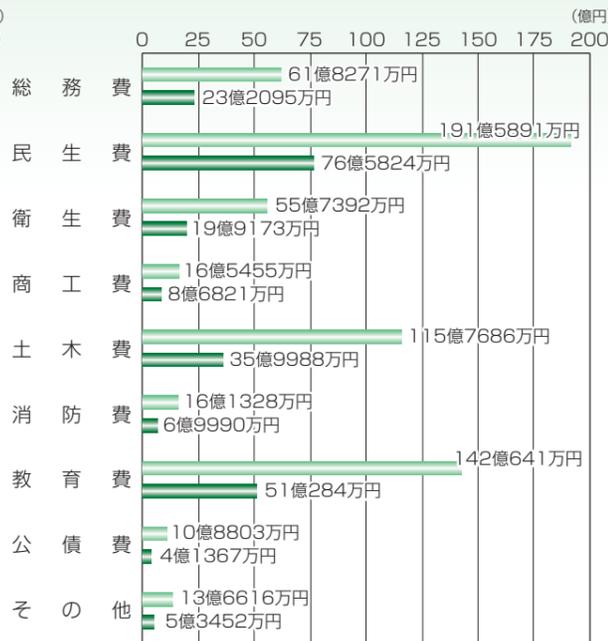
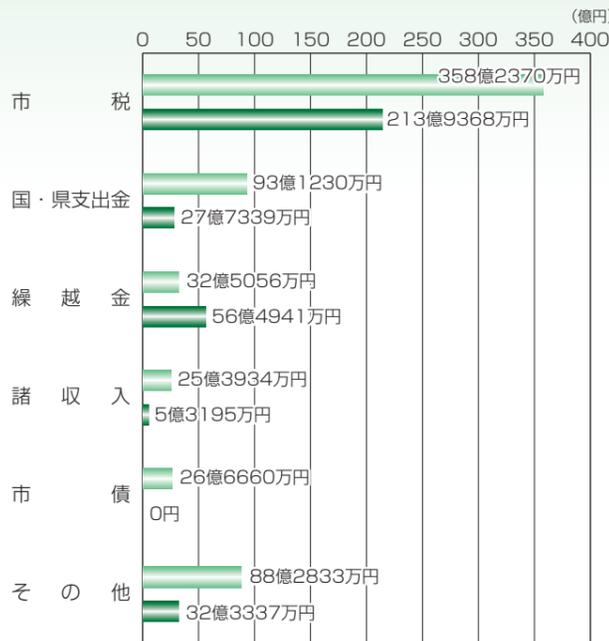
市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。今回は、30年度上半期(9月30日現在)の予算執行状況をお知らせします。

◆一般会計(歳入)

予算現額 624億2083万円
収入済額 335億8180万円
収入率 53.8%

◆一般会計(歳出)

予算現額 624億2083万円
支出済額 231億8994万円
執行率 37.2%



市税の負担状況

1人当たり 141,099円
1世帯当たり 325,835円

市税収入済額内訳



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	8億728万円
民生債	6億7万円
衛生債	2億637万円
土木・公営住宅債	10億8310万円
消防債	2270万円
教育債	38億6517万円
その他	17億2064万円
計	83億533万円

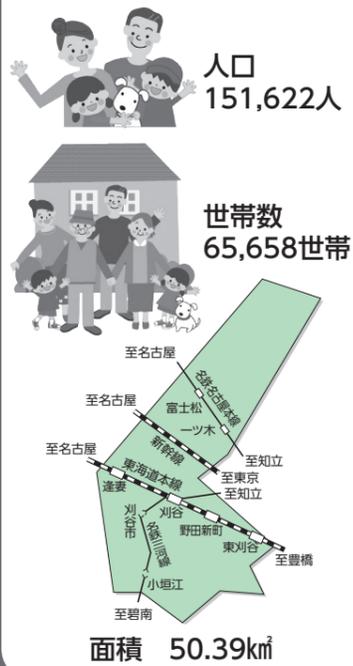
◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	1億6251万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	20億7050万円
下水道事業	209億6587万円
計	230億3637万円

◆基礎数値◆



◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	7億4377万円	8億5000万円	4010万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億760万円	2億2420万円	883万円
国民健康保険	121億6575万円	59億2313万円	43億6632万円
後期高齢者医療	18億1581万円	5億7539万円	3億2517万円
介護保険	86億8443万円	40億2455万円	31億1987万円

◆企業会計

区分	予算現額	執行額
水道事業	収益的収入	28億8792万円
	資本的収入	4億5414万円
下水道事業	収益的収入	36億7581万円
	資本的収入	17億8813万円
水道事業	収益的支出	26億9655万円
	資本的支出	12億2100万円
下水道事業	収益的支出	36億7575万円
	資本的支出	25億7587万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の29年度決算に基づく数値をお知らせします(表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています)。

◆健全化判断比率 (単位: %)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.50
連結実質赤字比率	-	16.50
実質公債費比率	△2.3	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標
連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標
将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標
早期健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

◆資金不足比率 (単位: %)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
水道事業会計	-	
下水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
経営健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

総評...刈谷市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。